

スピーチプロンプター

TP-800



取扱説明書

datavideo
JAPAN

www.datavideo.jp

目次

内容物	3
概要	4
特長	4
組み立て	5
IP を介した PC との接続	8
ルーター/ DHCP LAN 経由の接続	9
50/50 ガラスのクリーニング	9
オプション(別売り)のスピーチプロンプターリモコン(WR-500)	10
スピーチプロンプターリモコンの接続と操作	10
スピーチプロンプターリモコンご利用方法	11
Dv Prompter Plus アプリ	12
ドキュメント画面	12
スクリプトの作成と編集	12
プレイリスト	13
プレイリストの順序を変更する	13
コントロール	13
メニューバー	14
ネットワーク	16
複数のデバイスの同期	17
ネットワーク接続の例	19
外部ディスプレイの接続	19
仕様	20
サポート窓口	20

内容物



製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は、取扱店までご連絡下さい。
 ※ 組立方法については(P4～)で下記表を参照してください。

アイテム番号	商品	数量
A	ハードケース	1
B	15 インチ LCD コントロールユニット	1
C	3 / 8 ネジ付きの延長可能なポール	1
D	調整可能なビームスプリッターガラスクランプ	1
E	ビームスプリッタークランプ用つまみねじ (アイテム D)	1
F	50 / 50 ガラスビームスプリッター	1
G	AC/DC 変換アダプタ(DC12V/2.0A)	1
H	イーサネットケーブル 5M	1
I	WR-500 リモコン用 3.5mm 入力アダプタ	1
J	USB マウス	1
K	サンフード	1
L	12VD-タップケーブル	1
	取扱説明書 (本書)	1

概要

TP-800 スピーチプロンプターキットは、講演者がお客様に向けて演説する会議や、その他のイベント向けに設計されています。お客様の視点から見ると、高品質のプロンプターガラスは透明であり、講演者が何の助けもなしに流暢に話しているような印象を与えます。講演者の視点から見ると、ガラスはスタンドのベースにある LCD モニターからの事前に準備されたスピーチの原稿を鏡像として表示します。スタンドの高さとプロンプトガラスの角度は、講演者の視点に合わせて調整可能です。

特長

- 頑丈なキャリングケースに組み込まれています。
- 完全に独立したスタンドアロンタイプです。
- Dv Prompter Plus アプリケーションが組み込まれた 15 インチ 4 : 3 LCD ディスプレイ。
- AC 電源またはバッテリーから電力を供給できます。
- HDMI 入力と HDMI 出力を使用して、もう一台の TP-800 に接続できます。
- HDMI 出力は、外部ディスプレイへの入力にも使用できます。
- HDMI 入力により、必要に応じて、内蔵タブレットをサードパーティソフトウェアで HDMI モニターとして使用することもできます。
- イーサネット経由で完全に制御可能です。
- オプションの有線リモコンを利用できます。



組み立て



①メインの TP-800 ハードケースとシャーシ（アイテム A）の蓋を開きます。



②15 インチ LCD コントロールユニット（アイテム B）を持上て、ケース内の他のすべてのアイテムを取り出します。



③15 インチ LCD コントロールユニット（アイテム B）をメインの TP-800 ハードケースとシャーシ（アイテム A）に戻します。



④延長可能なポール（アイテム C）をメインの TP-800 ハードケースとシャーシ（アイテム A）にねじ込みます。



⑤つまみネジ（アイテム E）を使用して、調整可能なビームスプリッターガラスクランプ（アイテム D）を延長可能なポール（アイテム C）の上部に取り付けます。



⑥50/50 ガラスビームスプリッター（アイテム F）を調整可能なビームスプリッターガラスクランプ（アイテム D）に挿入します。

つまみねじを回してガラスを固定します。
ガラスは約 40 度の角度にする必要があります。
プロンプターの真正面に立つと、ガラスの中に 15 インチの LCD 画面全体が見えるはずですが。

⑦付属のアダプタ DC12V/2.0A（アイテム G）を 15 インチ LCD コントロールユニット（アイテム B）に接続します



⑧サンフード（アイテムK）を取り付ける事ができます。サンフードの両側にあるマジックテープで固定具に取り付けます

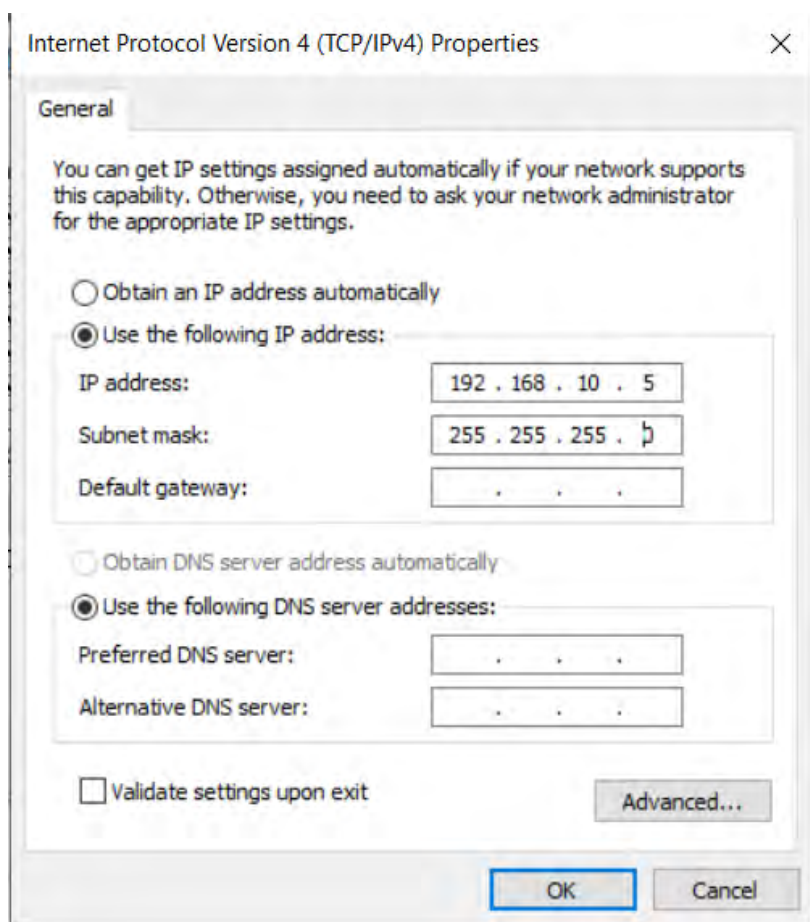
これで、TP-800の電源を入れる準備ができました。

IP を介した PC との接続

PC とネットワークに接続して、IP を介した制御と監視を行います

TP-800 には、Datavideo dv Prompter Plus アプリが組み込まれています。従来のスピーチプロンプターとは異なり、最新の Web ブラウザーを使用してイーサネット接続デバイスから監視および制御が出来ます。

1. TP-800 と PC をイーサネットケーブルで接続します
2. TP-800 の電源を入れると、dv Prompter Plus アプリが自動的に開きます
3. TP-800 のデフォルトの静的 IP アドレスは 192.168.10.10 です。また、PC に静的 IP アドレスを設定する必要があります。
4. Windows コンピューターの電源を入れ、Windows ネットワークおよび共有センター内で設定された静的 IP に設定します。この例では、コンピューターに次の IP 設定が与えられているため、コンピューターは TP-800 と同じ IP 範囲に設定します。



5. Web ブラウザーを開き、`http://192.168.10.10:9789` に移動すると、以下に示すメインコントロールページが表示されます。
6. ソフトウェアの操作手順については、このマニュアルの「dv Prompter Plus App」セクションを参照してください。

ルーター/ DHCP LAN 経由の接続

1. 付属の USB マウスを TP-800 に接続し、電源を入れます
2. TP-800 が起動したら、右クリックで dv Prompter Plus アプリを閉じます。
3. [設定]> [その他]> [イーサネット]に移動します
4. 「イーサネット IP モード」を静的から DHCP に変更します
5. TP-800 を既存の LAN に接続します
6. dv Prompter Plus アプリを開きます
7. メニューバーをクリックしてから[ネットワーク]をクリックします
8. ネットワーク制御 URL は以下のように表示されます
9. ソフトウェアの操作手順については、このマニュアルの「dv Prompter Plus App」セクションを参照してください。



50/50 ガラスのクリーニング



この製品には 50/50 ガラスのシートが含まれていますので、取り扱いには注意してください。

損傷や怪我のリスクを回避するために、この取扱説明書に従い、製品のこの部分を輸送、開梱、清掃、組み立て、または分解するには最新の注意をしてください。

Datavideo は、ほこりや指紋の跡を取り除くために、定期的にガラスを掃除することをお勧めします。これにより、カメラがガラス越しに撮影する際に最高の画質が得られます。

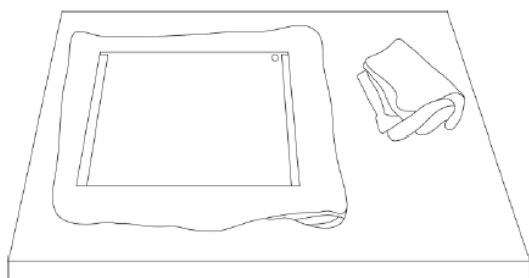
プロンプターに取り付けられている間は、ガラスを絶対に掃除しないでください。

プロンプターからガラスを慎重に取り外し、ガラスを掃除してから、プロンプターフレームに再度取り付けてください。ガラスの布で覆われた端を常に使用して、ガラスを慎重に取り扱ってください。

ガラスに必要な品質を維持し、洗浄中にガラスに傷を付けないようにする為に以下項目を順守して下さい。

※ガラスに研磨布、パッド、または研磨剤ベースの洗浄液を使用しないでください。

※酸または酢溶液をベースにした洗浄液は絶対に使用しないでください。



清潔な布を敷いたテーブルなど、柔らかくて安定した汚れや糸くずの出ない作業台にガラスを置きます。

次に、糸くずの出ない柔らかい布を使用して、ガラスを清掃します。

ガラスに直接洗浄液を塗布しないでください。少量の洗浄液を布に塗布またはスプレーしてください。

ガラスの掃除に進み、布で軽く円を描くように動かします。ガラスを裏返して反対側で繰り返す前に、すべての指の跡と縞がなくなっていることを確認してください。

オプション(別売り)のスピーチプロンプターリモコン(WR-500)

TP-800 スピーチプロンプターは、IP を介してリアルタイムで制御および監視できます。オプションで、有線制御用の WR-500 リモコンもご使用いただけます。この WR-500 リモコンは、Bluetooth と有線操作をサポートしています。

※TP-800 では有線操作のみがサポートされています。

有線モード



開封時、WR-500 リモコンは有線モードになっています。ボタンを押すと、赤い LED が点滅します。有線モードでは、リモコンを TP-800 にケーブルで接続する必要があります。このリモコンには、4 極ジャック-ジャックプラグケーブルが付属しています。ケーブルの一端は 3.5mm 入力アダプター (アイテム I、TP-800 に付属) に適合します。もう一方の端は、WR-500 リモコンのジャックソケットに差し込みます。

注意：
このリモコンを有線モードで使用する場合は、[リモコン]メニューオプションで DV Prompter Plus アプリも [有線-WR-500] に設定する必要があります。

スピーチプロンプターリモコンの接続と操作

＋ テキストスクロールスピードアップ/マーカー次へ

— テキストスクロールスピードダウン/マーカー戻る

▶▶ 一時停止/再開

◀◀ フォントサイズを小さく/前のスク립トを呼び出す

▶▶ フォントサイズを大きく/次のスク립トを呼び出す

① 充電及び表示用 LED ライト
LED 赤(ワイヤードモード)
LED 緑(Bluetooth モード)

②首掛け用ストラップ取付ソケット



首掛け用ストラップを②に取り付けた様子

スピーチプロンプターリモコンご利用方法

本体にはボタン電池(CR2032)が内蔵されています。
電池が切れた際はユーザー自身で電池の交換をして下さい。



カバーを外して
表面(+)を上に向けて差し込む

※手袋等を使用して作業を行ってください
指紋を付けると錆びが発生して不具合の原因になります。
※電源は本体が5分無操作状態が続くと自動的に切れます。

『WR-500』 ワイヤードモード（有線）で使用

出荷時にはワイヤードモードに設定されています。必要に応じてワイヤレスモードに切り替えることが可能です。
ワイヤードモードで使用する場合は、本体を付属のワイヤード（有線）用ケーブルでスマートフォンまたはタブレットに接続して下さい。
ジャックプラグコネクタはタブレット端末のミニジャックソケットに適合します。
※）ワイヤードモードで使用する場合は、dv Prompter アプリの Settings - Remote Type で“Wired - WR-500”に設定して下さい。
ワイヤレスモードからワイヤードモードに戻す場合、再生/停止ボタンを緑のLEDが点灯するまで長押しして下さい。
再生/停止ボタンを離し、もう一度いずれかのボタンを押したときに赤のLEDが点灯すると、ワイヤードモードに切り替わっています



※TP-800では有線操作のみがサポートされています。



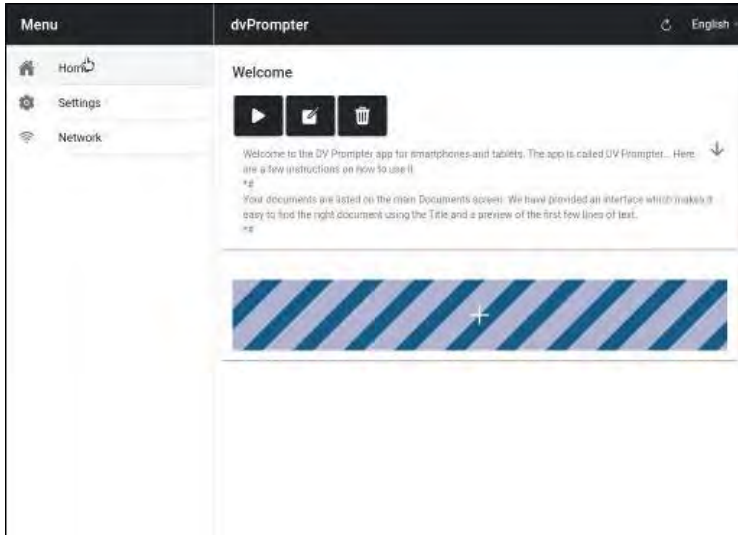
Dv Prompter Plus アプリ

TP-800 には、プロンプタープラスアプリケーションがインストールされています。

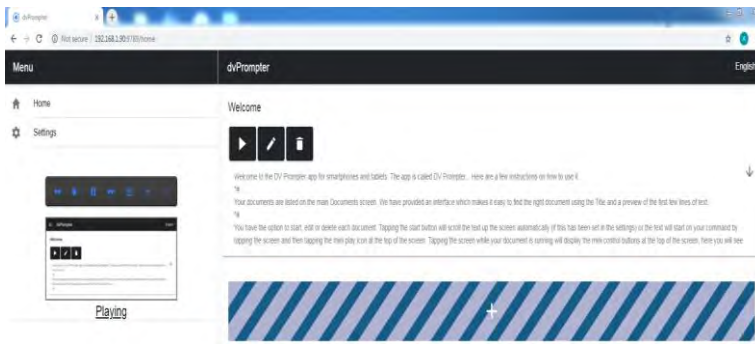
ドキュメント画面

アプリを初めて起動すると、以下の画面が表示されます。

左上隅のメニューバーから、さまざまな設定メニューにアクセスできます。



スクリプトの作成と編集



①アプリのリモコン webui にアクセスする方法については、このガイドの「ネットワーク」セクションをご覧ください。



②デバイスで新しいスクリプトを作成するには、[+]ボタンをタップし、タイトルを入力してから、リッチテキストエディターにスクリプト本文を入力します。「X」をタップしてリッチテキストエディターを閉じると、スクリプトが自動的に保存されます。デバイスでスクリプトを編集するには、[編集]ボタンをタップするだけです。

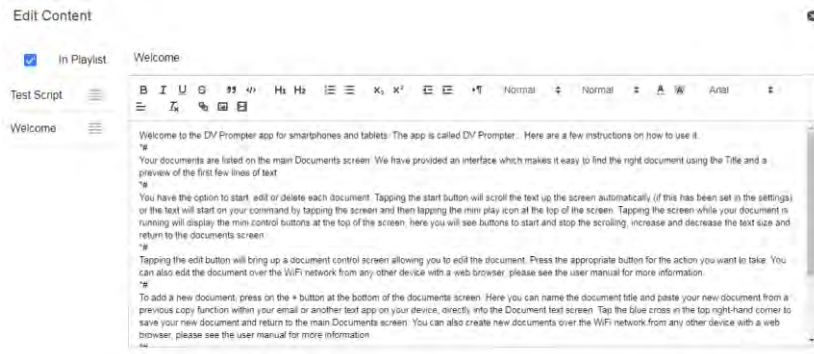
③リッチテキストエディターを閉じて[X]をタップすると、スクリプトが自動的に保存されます。

プレイリスト

プレイリストにスクリプトを追加する

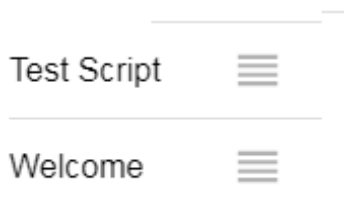
webui を介してスクリプトを作成または編集するときに[プレイリスト内]オプションをオンにすると、アプリはリスト内の次のスクリプトを自動的に読み込むことができます。また、ハードウェアリモコンを使用してスクリプト間をすばやくジャンプすることもできます（の制御セクションを参照）。詳細については、このガイドを参照してください）。

プレイリストの順序を変更する



プレイリストの順序を変更する

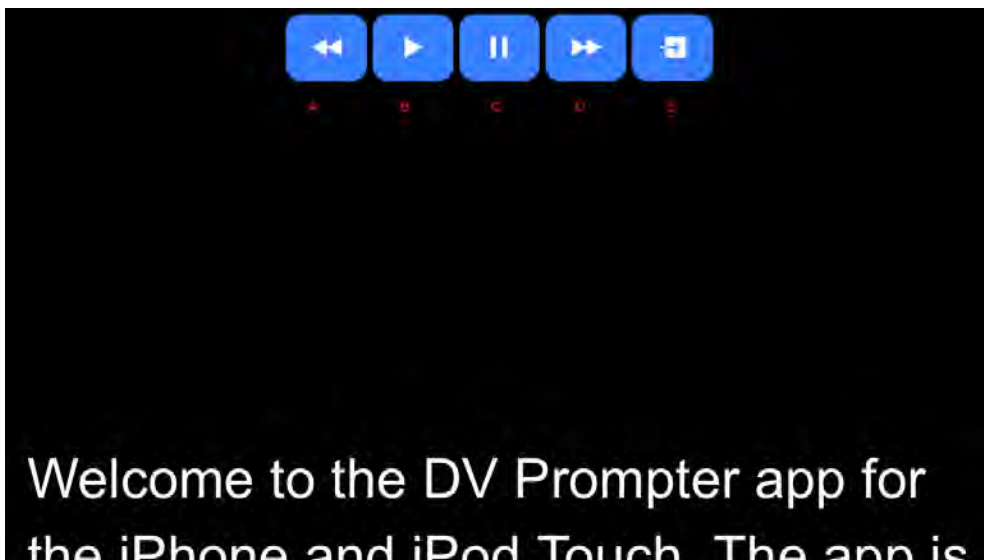
プレイリストの実行順序を変更するには、スクリプト名の右側にある水平バーをクリックして、目的の位置にドラッグします。



コントロール

デバイス経由（USB マウス）

スクリプトの読み込み時に画面をクリックすると、以下のメニューバーが表示されます。



- A : スクロールするときはテキストサイズを小さくするか、一時停止するとプレイリスト内の前のスクリプトにジャンプします
- B : スクロールを開始/一時停止します
- C : スクロールを開始/一時停止します
- D : スクロール時にテキストサイズを大きくする/一時停止するとプレイリストの次のスクリプトにジャンプする
- E : スクリプトをアンロードして、ドキュメント画面に戻ります

Web インターフェイス経由

アプリのリモコン webui にアクセスする方法については、このガイドの「ネットワーク」セクションをご覧ください。
ネットワーク制御インターフェイスを以下に示します。



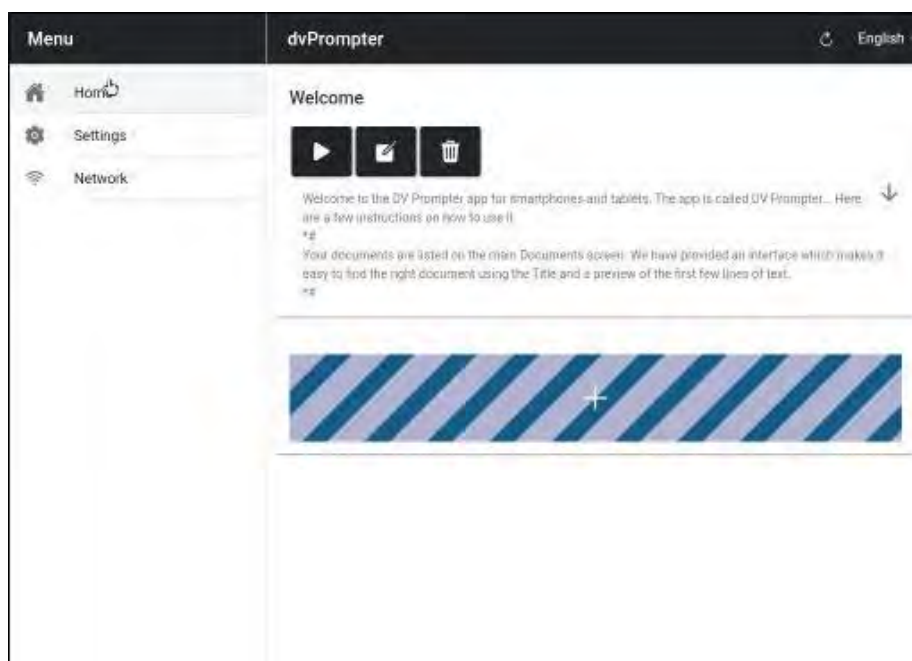
- A : スクロールするときはテキストサイズを小さくするか、一時停止するとプレイリスト内の前のスクリプトにジャンプします
- B : スクロールを開始/一時停止します
- C : スクロールを開始/一時停止します
- D : スクロール時にテキストサイズを大きくする/一時停止するとプレイリストの次のスクリプトにジャンプする
- E : スクリプトをアンロードして、ドキュメント画面に戻ります
- F : スクロール時の速度を上げる/一時停止時に前のブレイクマーカーにジャンプする
- G : スクロール時の速度を下げる/一時停止時に次のブレイクマーカーにジャンプする

メニューバー

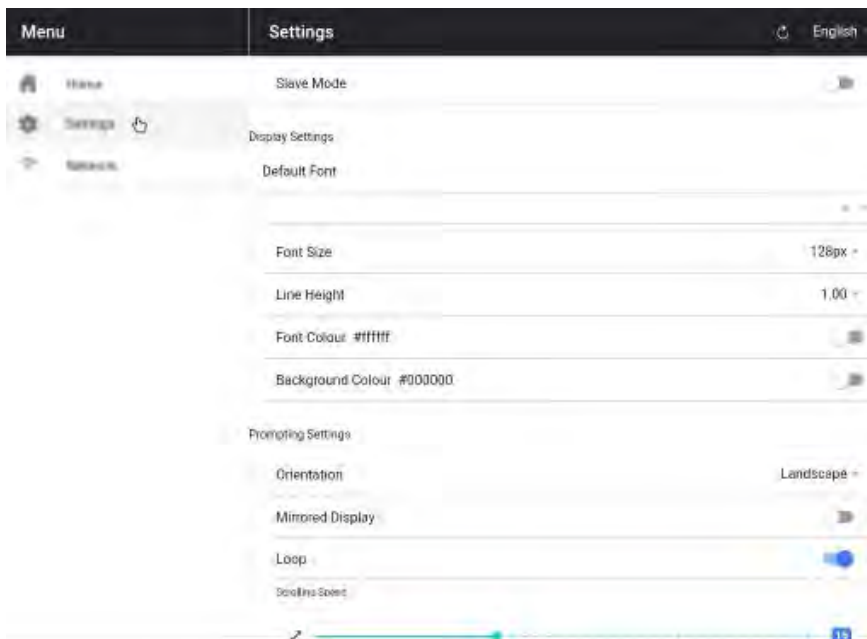
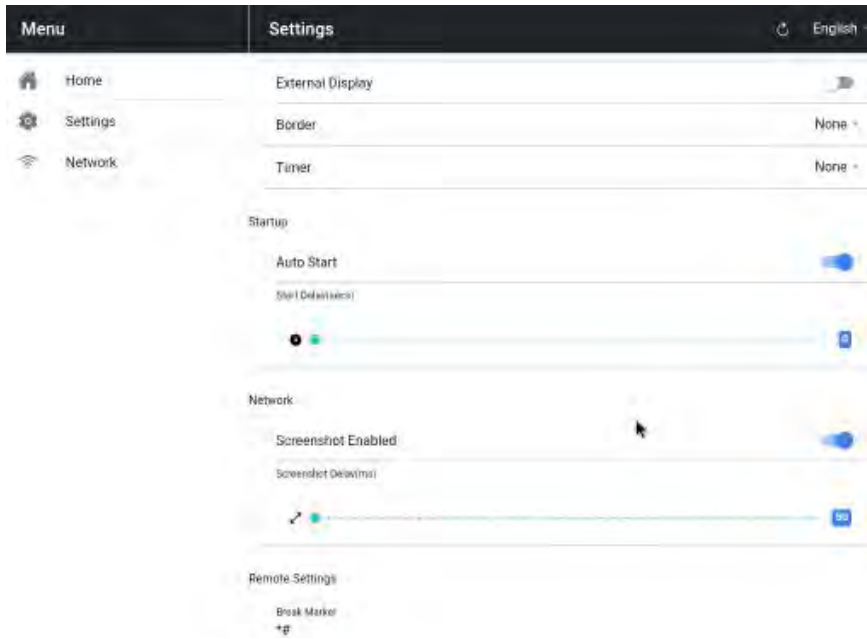
・メニューバー（ドキュメント画面の左上隅にあります）をクリックすると、以下に示すメニューが表示されます。

次の3つのオプションが表示されます。

- ホーム(HOME)-ドキュメント画面に戻る
- 設定(Setting)-すべてのアプリ設定を表示します
- ネットワーク(Network)-ローカルイーサネットネットワークを介して Web ブラウザを使用して任意のデバイスからアプリにアクセスするために必要なアドレスを表示します



・セッティング(Settings)



●スレーブモード：有効にすると、デバイスは別の dvPrompter アプリのスレーブ画面として機能しません。

詳細については、「複数のデバイスの同期」セクションを参照してください。

●デフォルトフォント：エディターで使用されるデフォルトフォントを選択します（これは、エディターを使用してスクリプトごとにオーバーライドできます）。

●フォントサイズ：デフォルトのフォントサイズを設定します。これは、エディター内でフォントサイズが設定されていないすべてのテキストに適用されます。

●行の高さ：スクロール時の行間の間隔を設定します。値が 1 未満の場合、テキストが重なる可能性があります。

フォントの色：デフォルトのフォントの色を設定します（これは、エディターを使用してスクリプトごとに上書きできます）。

●背景色：背景色を設定します。

●向き：デバイスを「横向き」にするか「縦向き」にするかを選択します。

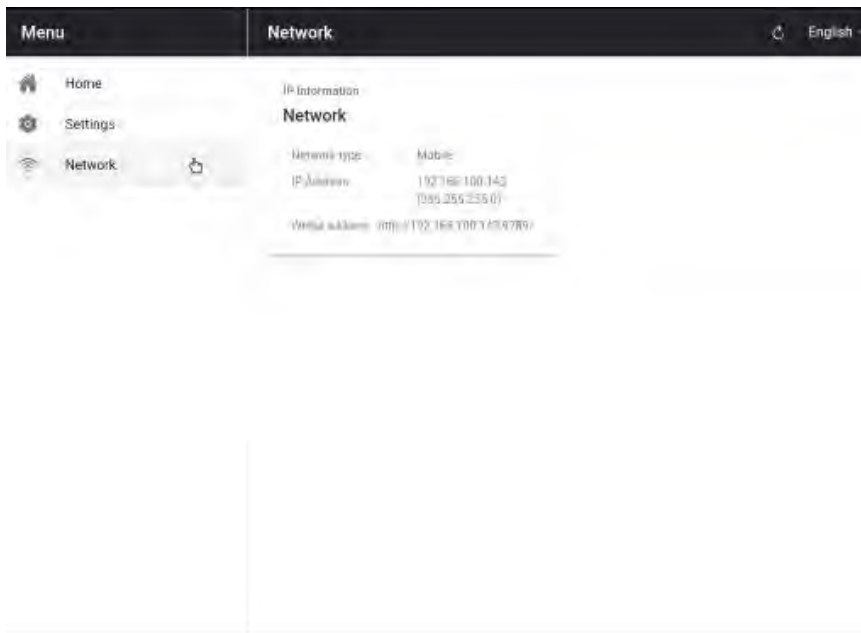
●ミラー表示：デバイスから直接テキストを読み取る場合は「オフ」に設定し、ミラーを介してテキストを読み取る場合は「オン」に設定します。

●ループ：「オン」に設定すると、終了時にスクリプトが継続的にループします（プレイリストが使用されていない場合にのみ有効です）。

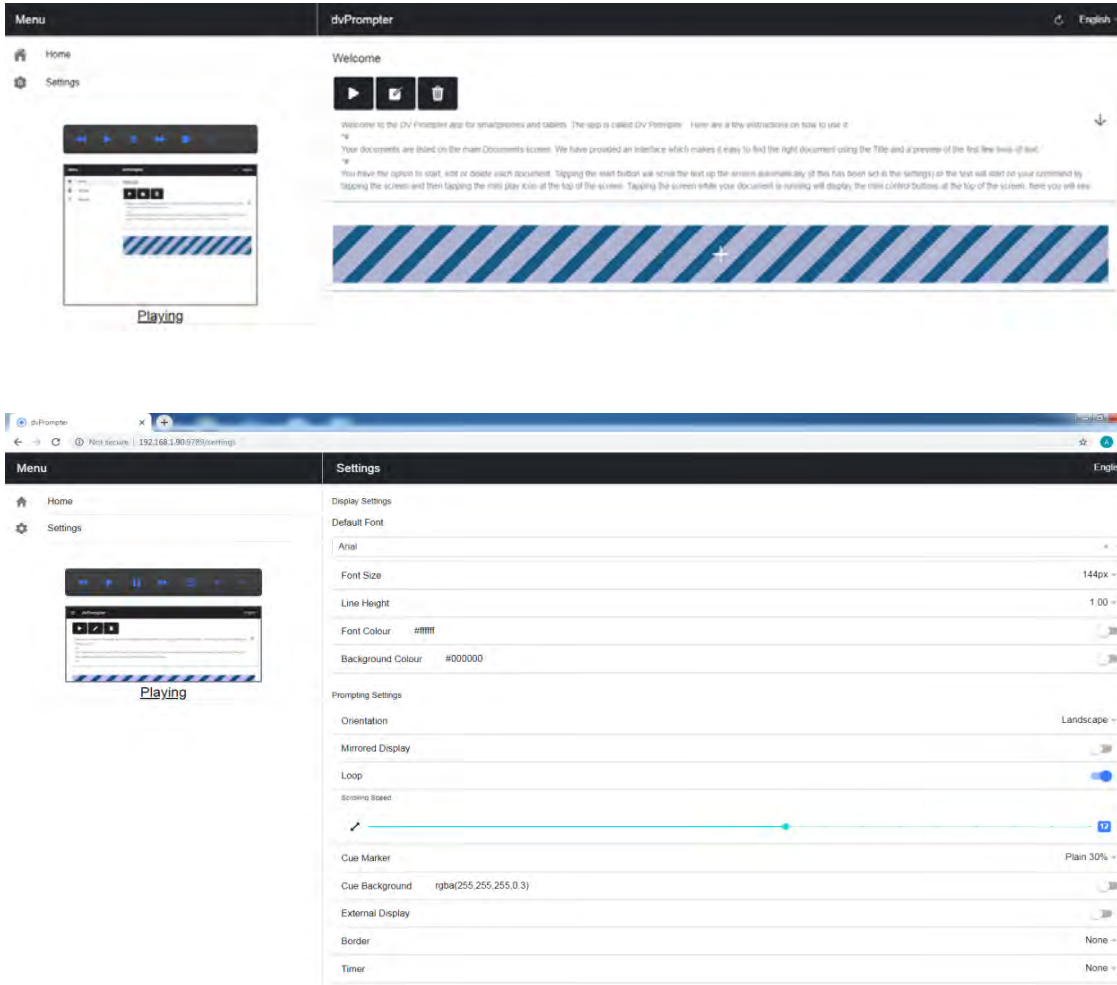
- スクロール速度：テキストがスクロールを開始する速度を設定します。これは、ハードウェアまたはネットワークのリモコンで調整できます。
- キューマーカー：オプションでキューマーカーを選択して、タレントが読む必要のあるテキスト行を定義します。
キューの背景：キューマーカーの背景色を設定します（プレーンまたは組み合わせたキューマーカーを使用する場合にのみ有効です）。
- 外部ディスプレイ：無効にすると、HDMI またはワイヤレスで接続された 2 番目のディスプレイがメインディスプレイをミラーリングします。有効にしたテキストが 2 番目のディスプレイでのみスクロールする場合、メインディスプレイを使用して、スクリプトの作成と編集、およびテキストの制御を行うことができます。
- 境界線：スクロールするテキストの周囲に境界線を追加するために使用されます。これは、テキストがモニターやビームスプリッターガラスの端に近すぎる場合に役立ちます。
- タイマー：テキストが画面上でスクロールされている時間を示すタイマーを表示します。タイマーは、新しいスクリプトが読み込まれるとリセットされ、スクリプトが一時停止されると一時停止します。
- 自動開始：「オン」に設定すると、スクリプトは自動的にスクロールを開始します。「オフ」に設定すると、オンスクリーンメニュー、ハードウェア、またはネットワークリモコンを使用してスクリプトを開始する必要があります。
- 開始遅延：オプションで、開始コマンドが発行されてからテキストがスクロールを開始するまでの遅延（秒単位）を設定します（手動開始と自動開始で機能します）。
- スクリーンショットを有効にする：Web インターフェイスを介したリモート監視に使用されるスクリーンショットを有効または無効にします。
- スクリーンショット遅延（ミリ秒）：スクリーンショットが取得され、リモート監視のためにネットワーク Web インターフェイスに送信されるミリ秒単位の時間。値が小さいほど遅延は少なくなりますが、CPU とネットワークの使用量は多くなります。値が小さいほど、より高速なハードウェアが必要になります。
- ブレイクマーカー：* # のように、スクロールされたテキストのブレイクを示すブレイクマーカーと呼ばれるテキスト文字を設定することもできます。これらのマーカーを使用すると、ハードウェアまたはネットワークリモコンを使用しているときに、製造の実行順序が変更された場合に、テキスト内のポイント間をすばやく前後にジャンプできます。
- リモートコントロール：オプションの DatavideoWR-500 コントローラーを使用してスクリプトを制御できます。Bluetooth または有線モードのいずれかを選択してください。
- Webui アクセス：すべてのオプション機能は、TP-800 ですでにロック解除されています。

ネットワーク

デバイスが Wi-Fi またはイーサネットネットワークに接続されている場合は、ネットワーク経由でアプリを制御できます。同じネットワーク上の別のデバイスの Web ブラウザーに webui アドレスを入力して下さい。



以下にリモコンインターフェースの例を示します。



複数のデバイスの同期

【HDMI 経由】



TP-800 は HDMI 入力および出力ポートを備えており、1 つの TP-800 の HDMI 出力を別の TP-800 の HDMI 入力に接続することにより、複数の TP-800 ユニットのデジーチェーン接続できます。

HDMI 入力を使用するには：

1. 付属の USB マウスを接続します
2. dv Prompter Plus アプリケーションを閉じます
3. 「HDMIIN」アプリケーションを起動します

【イーサネット経由】

この機能を使用すると、イーサネットネットワークを介して 2 つ以上のデバイスでスクロールテキストを同期できます。

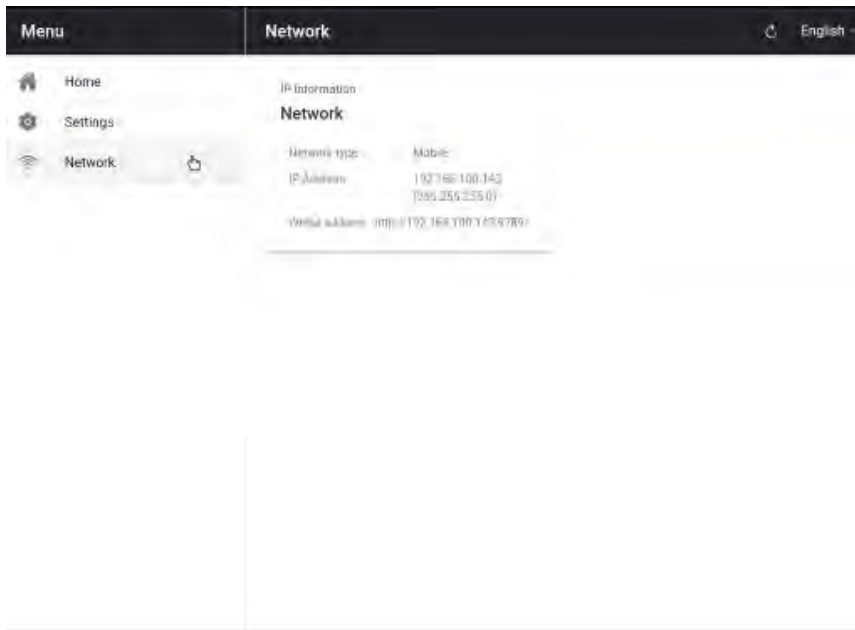
(要件)

- 同期が機能するには、すべてのデバイスが同一である必要があります（画面の高さが同じデバイスでも機能する場合がありますが、これは保証されません）。
- スレーブデバイスはマスターデバイスに追加の負荷をかけます。接続できるスレーブデバイスの数は、マスターデバイスのパフォーマンスによって異なります。
- すべてのスレーブデバイスは、マスターデバイスと同じローカルネットワークに接続する必要があります。

(セットアップ手順)

- ① ネットワークメニューに移動して、マスターデバイスの IP アドレスを取得します。

②スレーブデバイスの設定メニューを開き、スレーブモードを有効にして、マスターの IP アドレスを入力します。

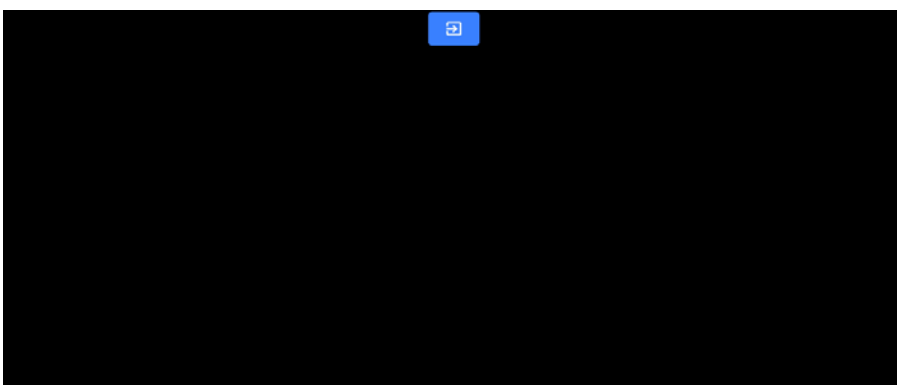


③メニューバーの[ホーム]をタップします。スレーブがマスターへの接続を確立している間、以下の画面が表示されます。



④接続すると、画面が白から黒に変わり、スレーブはマスターをミラーリングします。

⑤スレーブモードを終了するには、画面をタップしてから青い終了ボタンを押すと、アプリが閉じます。



ネットワーク接続の例



外部ディスプレイの接続

TP-800 の HDMI 出力を使用して外部ディスプレイを接続できます。

外部ディスプレイ設定を無効にする（webUI コントロールを使用する場合に推奨）

このモードでは、外部ディスプレイはデバイスの画面をミラーリングします。

外部ディスプレイ設定を有効にする（USB キーボードとマウスを使用する場合に推奨）

このモードでは、テキストは外部ディスプレイ上でのみスクロールし、デバイス画面をスクリプト制御および編集のために解放します。スクリプト制御オプションには、以下に示すようにメニューバーからアクセスできます。



仕様

型番	TP-800
電源	12V2A DC
リモコン	『WR-500』 Bluetooth™ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン ※オプション
寸法 / 質量	【プロンプターキット（組み立て後）】 430mm（幅）× 2000mm（高さ）× 410mm（奥行） ※調節可能な高さ 450~1610mm 【質量】 3.3KG 【50/50 ガラス】 240mm(横)×300mm(縦)

※仕様は、予告なしに変わることがあります

サポート窓口

datavideo JAPAN

株式会社 M&Inext datavideo 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

MAIL: service@datavideo.jp URL: <http://www.datavideo.jp/>

datavideo は Datavideo Technologies Co., Ltd の登録商標です。
本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等を行うことは著作権法上禁止されております。
日本語訳・制作・著作 株式会社 M&Inext

2022年11月15日改訂